



暮らしを支える 地域の人びと

地域住民ならではのきめ細かな活動で、私たちの生活を豊かにしてくれる地域の役員さん。
私たちの暮らしのなかでは、さまざまな人たちが、地域の役員さんとして活躍しています。
今回は昭和村安全会の活動を紹介します。

昭和村安全会



交通安全を呼びかけています

現代生活のなかで欠かす事のできない「自動車」。

便利な反面、一瞬の気のゆるみで大きな事故につながり、自分はもちろん、他の人まで巻き込んでしまう危険がつきまといま

昭和安全会では、様々な活動を通じて、車を運転するドライバーに安全運転を呼びかけたり、子どもやお年寄りに反射板を配布して注意を促したりと、交通安全意識の高揚と普及を図り、安心・安全な地域づくりを目指しています。

こんな活動をしています。

昭和村安全会では、主に、交通安全運動期間中の街頭指導でドライバーの皆さんに交通安全を呼びかけるほか、交通安全用品の購入や設置、カーブミラー磨きなども行っています。

会長に小菅和夫さん

平成19年度定期総会が3月25日、役場会議室で行われ、小菅和夫さん（池原）が会長に就任されました。



会長
小菅和夫さん

活動を紹介

街頭指導

交通安全運動期間中の4月7日には、午後5時ごろから、交通安全の街頭指導を村交通指導員と合同で行いました。



交通安全運動を呼びかける安全会員の所に分かれて行われた街頭指導では、信号待ちをしているドライバーに交通安全を呼びかけていました。

旗立てを購入

安全会では、横断歩道などに設置してある黄色い旗を立てる旗立てを購入しました。



新しく横断歩道ができたところや、旗立てが古くなって壊れているところに順次設置していきます。もし、横断歩道に旗立てが設置されていなくても、または壊れている場所を見かけましたら、役場総務課までご連絡ください。

反射リストバンドを寄贈

安全会では3月18日、反射リストバンドを昭和中学校の生徒に寄贈しました。昭和中学校を訪れた、昭和村安全会会長の都丸忠さん（赤城原第二）は生徒会長の星野拓馬君に反射リストバンドを手渡しました。



安全会では「中学生は部活などで暗くなってから帰宅することが多くなります。通学の際はリストバンドを活用して、交通安全に役立ててもらえれば」と話していました。

マスコットを配布

4月7日に行われた村内小中学校の入学式の前に、交通安全の祈願をしたマスコット人形を新入生に配りました。



子どもたちに配られたマスコット人形は安全会女性部の皆さんが、手作業で安全会のリボンや短冊を取り付けました。